

## 予期せぬ反応の対応。こんな時どうする？

三平 りさ<sup>1)</sup>， 山中 博之<sup>2)</sup>，  
泉大津急性期メディカルセンター<sup>1)</sup>， 近江八幡市立総合医療センター<sup>2)</sup>

輸血検査業務では、日常的にマニュアルどおりに進められる場面もあれば、想定外の検査結果や判断に迷うケースに遭遇することも少なくありません。例えば、血液型オモテウラ不一致や不規則抗体検査の解釈が難しいとき、緊急輸血依頼で交差適合試験に時間を要する場合、あるいは検査結果と臨床情報が一致しないときなど、臨床検査技師は迅速かつ的確な判断を求められます。

本セッションでは、実際の輸血検査において「こんなときどうする？」と悩みがちな事例を提示し、参加者とともに関心を持って考える会場参加型のディスカッションを行います。単なる知識の確認にとどまらず、現場での対応力や判断プロセスを共有し、他施設との情報交換の機会とすることを目的としています。

参加者の皆さまには、日頃の業務経験を踏まえて積極的に意見交換に加わっていただき、輸血検査業務における実践的な対応力向上につなげていただければ幸いです。